



P T A

セミナーだより

令和4年11月吉日
名古屋市立大高北小学校PTA

第2号

日頃はPTAの活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

会員の代表として参加させて頂いたセミナー等で得た情報を会員の皆様にも共有していけるように、2学期以降もセミナーの内容や参加者の感想などの情報をまとめて、発信していきたいと思っております。

【9/23 第72回名古屋市小中特別支援学校教職員教育研究大会】

特別活動分科会にて、「学校づくりに参画する児童の育成～私たちの学校はナンバー1でオンリー1～」をテーマとして、本校6年2組担任の 荒木 里依 先生から研究発表がされました。

「児童が活動に主体的に取り組むことができる支援の工夫」「児童が学校づくりに参画していることを実感することができる支援の工夫」という2つの点に重点を置き、全校児童集会と代表委員会の2つを実践したそうです。その研究で得られた成果と課題等についての発表がありました。

他に名古屋市2校の発表がありました。

子ども達1人ひとりが主体的に学校生活を送ることができるように、先生方が色々と取り組まれていることがよく分かりました。

インターネット等で必要な情報や知識がすぐに得られ、善悪の見極めをしていくことが求められる現代、自分の考えを持ち、それを周りに伝える力、他の人の考えを聴く力は、子ども達のこれからの人生にとってとても大切だと感じています。学校生活の様々な学習活動の中でそうした力を身に付け、ますます成長して欲しいと思っておりました。

また、全校児童集会など縦割りでの活動は、規模の小さい学校だからこそ出来る活動だと思います。大高北小学校だからこそ出来る活動を通して、学年を越えた関わりを経験し、憧れや思いやりの心も育って欲しいと思っておりました。

【第78回日本PTA 東海北陸ブロック研究大会 名古屋大会】

≪9/30：1日目≫

「子どもたちの未来 学校の未来 PTAの未来 ～やろまい みんなで 新しいPTA～」を大会の主題に、1日目は「家庭との連携」をテーマにした分科会と「地域との連携」をテーマにした分科会に参加してきました。

≪10/1：2日目≫

にっぽんど真ん中祭り出場の強豪チーム『夜宵（やよい）』が登場しオープニングを飾った後、「学校が、150年ぶりに変わる—そもそも教育は何のため？」をテーマに 苫野 一徳 先生（熊本大学准教授で哲学者、教育学者。）をお招きして記念講演が行われました。

教育制度が始まって150年…何も変わらないまま150年という長い時を経て、今、少しずつ変わろうとしています。「変わる（変える）為には“1に対話、2に対話、3・4飛ばして5に対話”」「何の為？何が出来る？とあらゆることに対して対話する」…教育もPTA活動も、まずはお互いを知る、根っこ（本音）を知ることが大切だと改めて思いました。

分科会参加者の声やオンデマンド配信のお知らせは、

↓↓ 2ページ目をぜひご覧下さい ↓↓

家庭との連携

「小規模校ならではのつながり」「家庭で伝える『人・まち・学校』」というテーマで2校の発表があり、その後パネルディスカッションがありました。

参加させて頂いて、「親を支えることが子どもを支えることにつながる(現在、家に居場所がないと感じる子どもは16.6%もいるというデータあり)」「子育てを一生懸命にやっている人が手をつなぐ活動になると、ひとりぼっちの親を作らない」ということが特に心に残りました。豊かな親子関係の為に、家庭・学校・地域が連携して課題に取り組んでいくPTA活動が大切だと思いました。

地域との連携

「地域全体で子どもを守り育てる活動をめざして」「学区を越えたつながり～パトロールを通しての取り組み～」というテーマで2校の発表があり、その後パネルディスカッションがありました。

家庭にある不用品を格安の価格で販売するバザールを開催している事例が、取り組みとしては面白いかなと思いました。不用品の在庫整理が出来て、その収益が子ども達に還元出来て、地域の方や保護者同士の関わりに繋がる…すぐに全部を真似することは難しいと思いますが、子ども達にPTA会費以上の還元が出来るという点で、規模の小さい学校にとっては検討してみる価値があるのでは？と思いました。



オンデマンド配信は↓↓コチラ↓↓から・・・

分科会 https://www.pta-nagoya.jp/nagoya_conference/bunka_kai.php

全体会 https://www.pta-nagoya.jp/nagoya_conference/zentai_kai.php

都合の良いタイミングで見ることが出来ます！！ぜひご覧下さい。